

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸スポーツ学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	臨床総合学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時間	後期	教室名	503教室
担 当 教 員	花原 容成	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
鍼灸臨床現場で診る機会の多い疾患や症候などを重点的に学習する。1年生では東医基礎を、2年生では診断学・治療学を学び、それらを元に東洋医学・西洋医学の両面から各症状別のアプローチのできる臨床鍼灸師としての知識を深める。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験:100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:『東洋医学臨床論 くはりきゅう編』(医道の日本社) 参考書:『社会あはき学』(医道の日本社)						
《授業外における学習方法》						
予習:講義予定部分の教科書の確認。 復習:講義箇所に関する教科書の熟読・ノート整理。 共通:授業内で紹介した古典や専門書の通読。						
《履修に当たっての留意点》						
1年・2年次の東洋医学系の知識をフル活用し行う授業になります。復習を交えながら行います。この教科で手を抜くと、鍼灸師の資格は取れても鍼灸師にはなれません。がんばっていきましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	治療総論について概説できる①。	教科書 プリント等	シラバス確認。 講義予定部分の教科書・参考書の確認。	
		各コマにおける授業予定	現代医学的な考え方			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	治療総論について概説できる②。	教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。	
		各コマにおける授業予定	東洋医学的な考え方			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	治療各論について概説できる。	教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。	
		各コマにおける授業予定	治療穴とその応用、手技と手法			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	疼痛に対するアプローチについて説明できる。	教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。	
		各コマにおける授業予定	疼痛の予防医学と東洋医学			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	臓腑に対するアプローチについて説明できる。	教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。	
		各コマにおける授業予定	肝系統			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	臓腑に対するアプローチについて説明できる。	教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。
		各コマにおける授業予定	心系統		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	臓腑に対するアプローチについて説明できる。	教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。
		各コマにおける授業予定	脾系統		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	臓腑に対するアプローチについて説明できる。	教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。
		各コマにおける授業予定	肺系統		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	臓腑に対するアプローチについて説明できる。	教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。
		各コマにおける授業予定	腎系統		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	全身の症候に対するアプローチについて説明できる。	教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。
		各コマにおける授業予定	全身の症候		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	その他の症候に対するアプローチについて説明できる。	教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。
		各コマにおける授業予定	その他症候		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	女性特有の症候に対するアプローチについて説明できる。	教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。
		各コマにおける授業予定	女性特有の症候		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児特有の症候に対するアプローチについて説明できる。	教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。
		各コマにおける授業予定	小児特有の症候		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	老年特有の症候について説明できる。	教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。
		各コマにおける授業予定	老年特有の症候		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	後期で学んだことを説明できる。	教科書 プリント等	講義予定部分の教科書・参考書の確認。
		各コマにおける授業予定	総括		